

2021 年度 シャトルバス運行・マイカー規制関連事業の実施結果について

知床国立公園カムイワッカ地区利用適正化対策協議会

1. 5 月連休の取組み（規制を行わない乗り換え促進）

■ 概要

知床五湖では例年、ゴールデンウィーク期間中に駐車場の入場待ち渋滞が発生する。そのため、今年は同期間中に通常の路線バスに加え、知床自然センターと知床五湖間において臨時バスを増便し、約 30 分間隔(1 日 12 往復)での運行を行うとともに、渋滞時にも優先的に入場が可能となるバスへの乗り換えを呼びかけた。

■ 実施期間

2021 年 5 月 1 日(土)～5 月 4 日(火)

■ 運行方法

一日 6 往復の既存の路線バスに加えて臨時便 6 往復を運行し、約 30 分間隔で運行した。料金は有料とし、通常の路線バスと同一の価格とした(自然センター⇄知床五湖往復 960 円)。

■ 実績

	乗車人数		
	①自然センターで 乗り換えた利用者	②既存の路線バス 利用者	合計(①+②)
5月1日	28	12	40
5月2日	31	5	36
5月3日	22	7	29
5月4日	42	9	51
計	123	33	156

■ 結果

- 期間中は天候が悪く、また新型コロナ感染拡大の影響もあり、入込みそのものが低調であった。特に知床五湖は降雪の影響もあり、利用者数が大きく落ち込んだため、渋滞抑制の効果等は充分には検証できていない。
- 知床五湖における渋滞は 5 月 2 日に最大 150m 発生した 1 回のみ。

2. 8 月のマイカー規制およびシャトルバスの運行

■ 概要

例年、夏季のカムイワッカ地区における混雑対策として、道道知床公園線知床五湖ゲート以奥のマイカー規制と、シャトルバスの運行を実施している。また、知床五湖における駐車場入場待ち渋滞の対策として、知床五湖の利用者に対しても、渋滞情報の提供とシャトルバスへの乗り換えの呼びかけを行っている。本年度はお盆期間を中心とした 10 日間で実施した。

■ 実施期間

2021 年 8 月 7 日（土）～8 月 16 日（月）（計 10 日間）

例年、25 日間程度としているが、新型コロナの影響により 10 日間に短縮

■ 運行方法

知床自然センター～知床五湖～カムイワッカ湯の滝の区間を 20 分間隔で運行した。一部はウトロ温泉バスターミナルおよび斜里バスターミナルとの直通運行を実施。料金は自然センター～カムイワッカ湯の滝往復 1,300 円。

■ 実績

- 総乗車人数は 5,500 名となり、同期比較では平年並みか、やや少ない程度水準に収まっており、コロナ禍においても実績が大きく減少することはなかった(表 1・図 1)。
- 日別の乗車人数を見ると、今年度のピークは 8 月 12 日の 991 人であった。8 月 10 日は悪天候のため利用者数が落ち込み、続く 8 月 11 日は道道知床公園線が降雨で 13:00 まで通行止めとなり、シャトルバスも 13:20 の 15 便からの運行となったため、乗車人数が落ち込んだ。
- 一部シャトルバスには地元ネイチャーガイドが同乗し、知床の自然環境や利用のルール等に関する解説案内を実施した(写真)。



表 1 2021 年 8 月のシャトルバス乗車実績

	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年
8/1			271	254	176	277
8/2			258	235	274	136
8/3			333	298	298	353
8/4			376	472	313	329
8/5			375	270	363	355
8/6			393	377	339	324
8/7	336		432	414	355	349
8/8	738		382	343	390	416
8/9	736	648	213	217	559	202
8/10	226	517	701	415	531	411
8/11	333	704	736	490	700	604
8/12	991	695	725	984	918	1,090
8/13	776	642	1,132	1,103	885	809
8/14	678	886	1,204	1,010	947	995
8/15	431	343	792	506	975	220
8/16	255		672	422	860	300
8/17			284	58	674	36
8/18			401	659	469	148
8/19			324	582	317	160
8/20			273	280	317	184
8/21			235	314	287	3
8/22			246	262	272	36
8/23			170	316	309	34
8/24			255	251	250	254
8/25			299	232	297	278
合計（全期間）	5,500	4,435	11,482	10,764	12,075	8,303
平均（全期間）	550	634	459	431	483	332

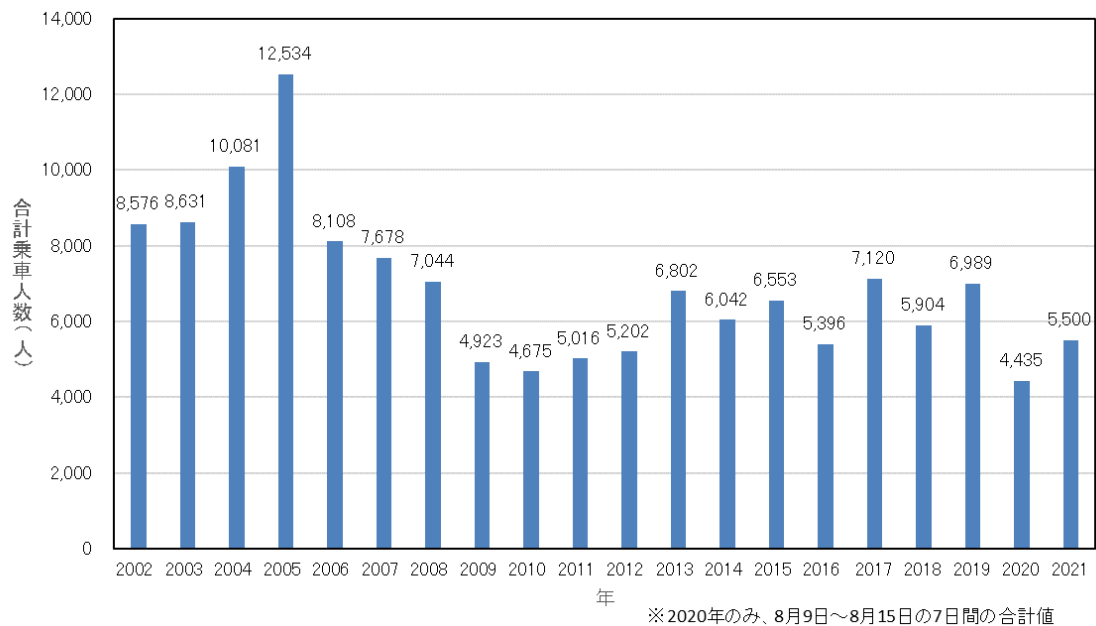


図1 お盆期間(8月7日～8月16日の10日間)におけるシャトルバス乗車人数の年推移

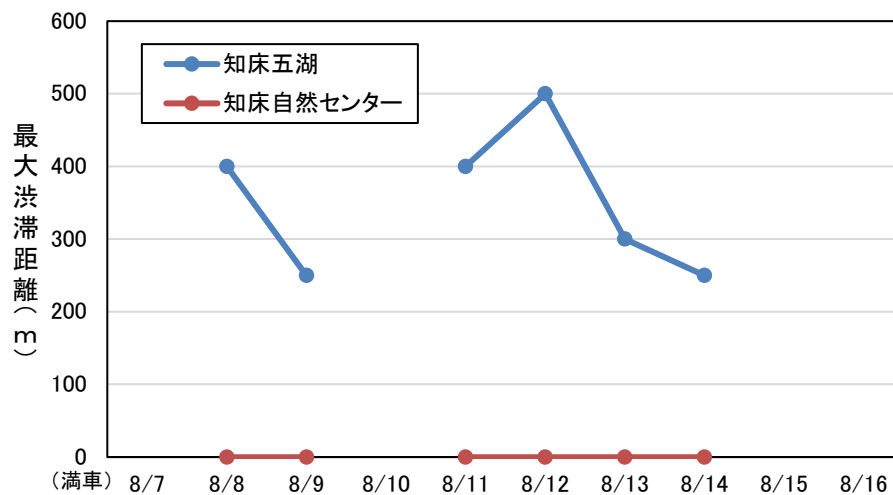


図2 知床五湖及び自然センター駐車場の渋滞発生状況

■ まとめ

- 10日間という限定実施に留まったものの、お盆期間は平年同様の混雑が発生したことから、渋滞抑制、混雑防止の意義は認められた。(図2)
- 8月10日は悪天候のため利用が減少し、翌11日は7:30～13:00まで幌別ゲート以奥が通行止めとなったため、通行止めが解除された14:00～16:00に渋滞が発生した。
- コロナ後の実施期間や実施方法、経費負担のあり方について協議が必要。

3. 10月の新方式での取り組み（知床オータムバスデイズ）

■ 概要

ヒグマ等の深刻化する野生動物とのあつれき対策、新たな観光コンテンツの創出、地域の二次交通網の検討などを目的として、ホロベツ地区（知床自然センター）からの車両規制とシャトルバス（ナショナルパークシャトル）を運行。「知床オータムバスデイズ」として秋のイベントと一体的に実施し、カムイワッカの滝上流部の再利用事業も同時期に実施。

■ 実施期間

2021年10月1日（金）～3日（日）

■ 運行方法

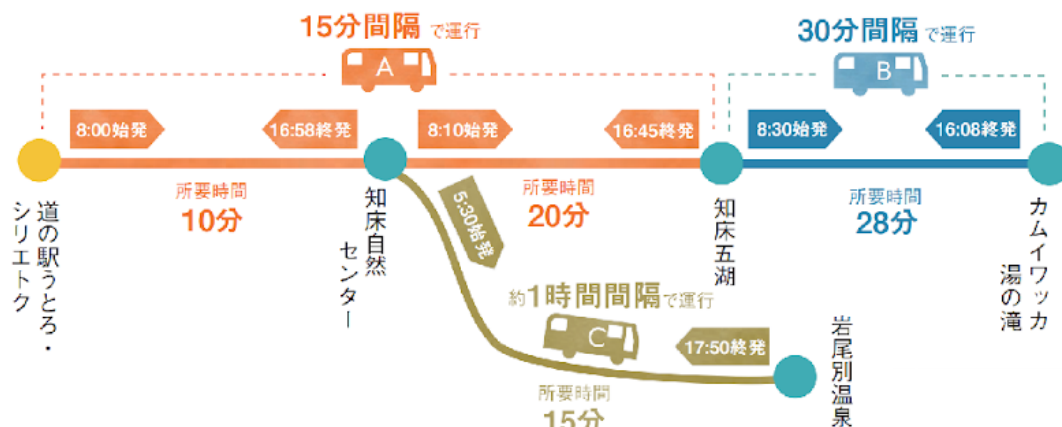
ウトロおよび知床自然センターを乗り換え拠点として、公園内の主要な目的地を3系統のシャトルバスで分担輸送した。また、一部便には地元ネイチャーガイドが同乗し、知床の自然環境や利用のルール等に関する解説案内を実施した。運賃は全便無料。

■ 魅力の付加、新規要素及び昨年度との変更点

2020年同様、「知床オータムバスデイズ」として秋のイベントと一体的に実施した。

昨年度からの新規要素として、カムイワッカの滝上流部の再利用事業を新たな魅力の付加として位置付け、オータムバスデイズと同期間で試行的に実施。ネイチャーガイドバスは昨年度午前便の往路のみの実施であったが、今年度は午前・午後の往路・復路で実施。

昨年度は道の駅、自然センターでマルシェやワークショップ等、飲食や集客を伴うイベントを一体的に実施したが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大対策として全て中止となった点において、イベントとして昨年度より集客効果は弱かった。

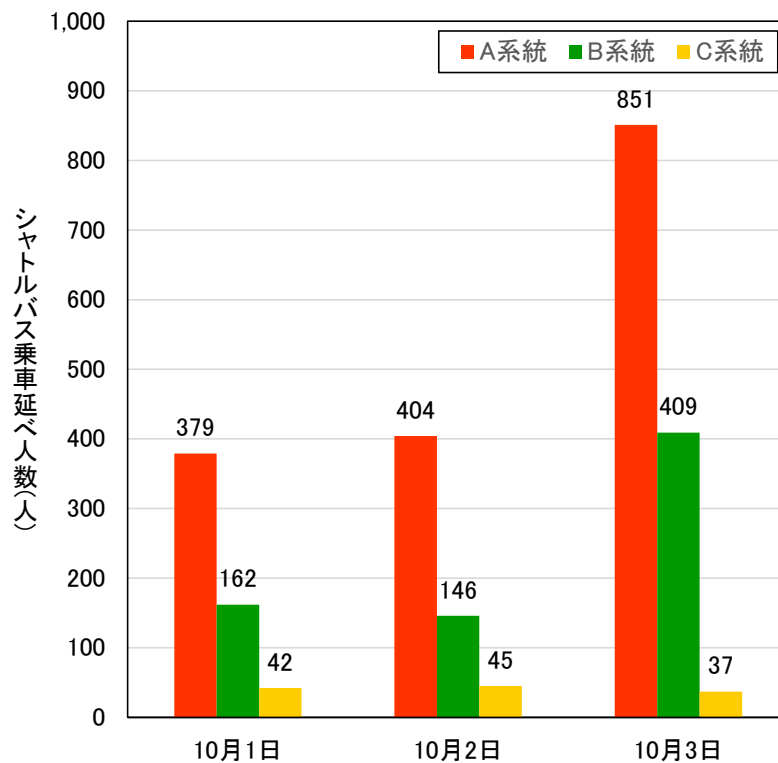


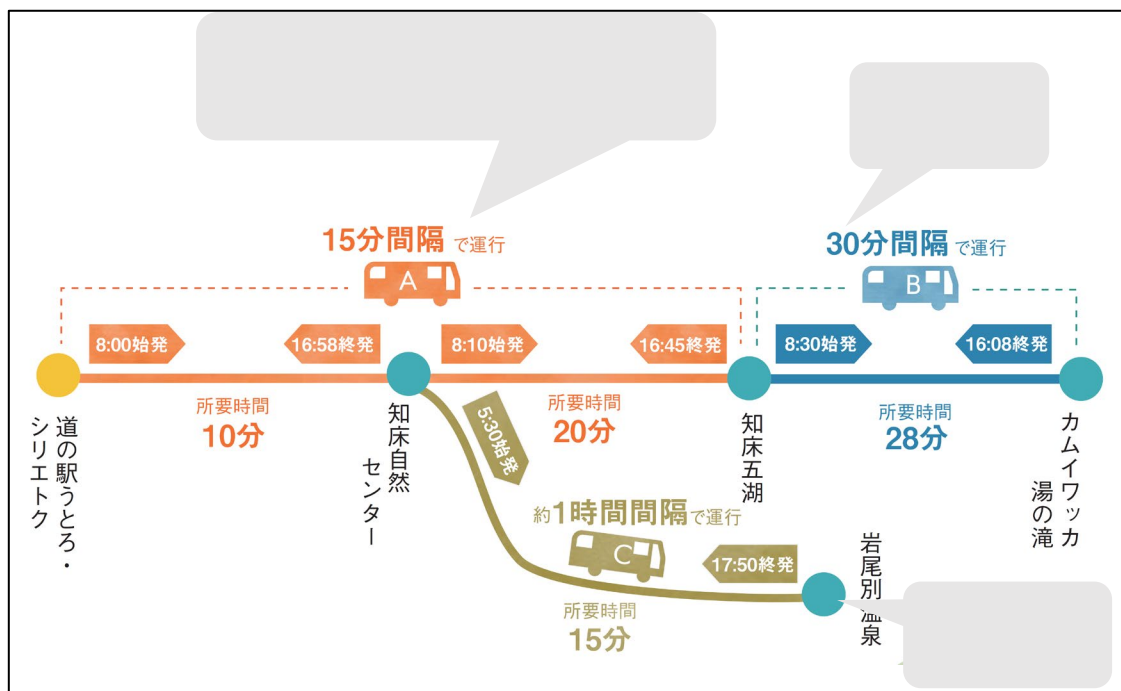
■ 実績

- ナショナルパークシャトルの総乗車人数は 2,475 名となり、昨年比 82%と 2 割程度減少した。これは、緊急事態宣言の解除直後であり、観光客数そのものが少なかった点に加え、9 月末の悪天候による飛行機の欠航、10 月 2 日降雨による影響があった点が要因として考えられる。一方、10 月 3 日は晴天となり過去最高の乗車人数となった(表2)。
- 岩尾別温泉に至る C 系統は 5 割程度増加した。これは、便数を増加した点や、宿泊利用、登山利用が多かった点が要因として考えられる。
- 知床自然センターの駐車場は満車になることなく、期間中にはある程度の余裕があった。

表 2 10 月のバスデイズ期間における日別のシャトルバス乗車人数

	1日	2日	3日	合計	昨年比
A系統	379	404	851	1,634	77%
B系統	162	146	409	717	86%
C系統	42	45	37	124	157%
合計	583	595	1,297	2,475	82%





バス停の様子

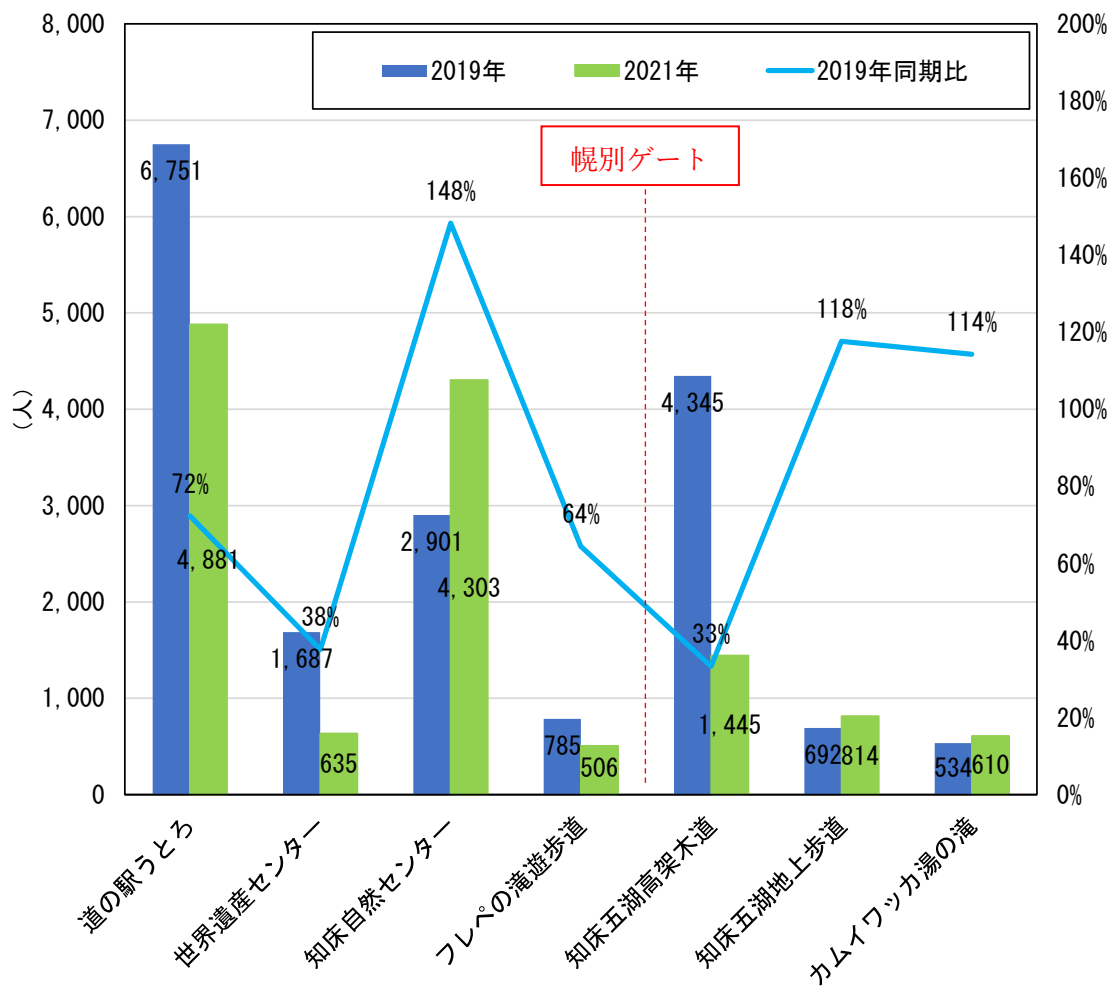


ネイチャーガイドトークの様子

■ 各施設の利用実績と 2019 年比較

- 道の駅の来館者数は緊急事態宣言や天候の影響を受け、例年から 3 割減少した。
- 乗り換え拠点となる知床自然センターでは利用者が約 5 割増加したが、フレペの滝の利用者数は減少、またマイカー規制区間内にある施設として知床五湖では地上遊歩道、カムイワッカ湯の滝ともに 1 割強の利用者数の増加が認められた。
- 一方で規制区間外である世界遺産センターや規制区間内でも高架木道では利用者数が減少した。

20211224 令和3年度 カムイワッカ部会(第 16 回)



■ まとめ

- 緊急事態宣言の影響により、実施判断が難しく、準備・広報等も直前となったが、概ねスムーズに現場運用が行われた。
- 期間中、野生動物との軋轢や交通障害等は改善したことが確認された。
- カムイワッカ湯の滝上流の利用、岩尾別ふか場の限定ツアー、ガイドによる解説などを一体的に実施し、交通と組み合わせた観光コンテンツのあり方について検討した。

4. 知床サステイナブルウィークの取り組み

■ 概要

知床自然センターを拠点とし、知床のアウトドア活動の可能性とそのフィールドの保全を伝えるための企画として実施していたイベントについて、今年度からは「Sustainable」をテーマにし、知床というサステイナブルな地域が「気づき」の場となることを目指したイベントを実施した。

アウトドア体験プログラム、ワークショップに加え、アウトドアマーケットやワークショップ、フィルム上映、ライブ等を予定していたが、新型コロナ感染拡大防止の観点から飲食や集客を伴うプログラムについては中止し、バスデイズの 2 年目の実施、アクティビティプログラムの開催、カムイワッカ湯の滝利用の試行事業の実施、「サステイナブル」をテーマとしたトークイベントの開催およびオンライン配信の試行等を実施した。

■ 実施期間

2021 年 10 月 1 日（金）～10 日（日）

■ 実績

- 来館者数は 10 日間で 10,447 名(1 日から 3 日は 4,303 人)。
- アウトドア体験プログラムは 10 日間 8 プログラムに 100 名、カムイワッカ湯の滝ガイドツアーは 3 日間で 10 名、カムイワッカ湯の滝 1 の滝以奥の試行事業に 3 日間で 151 名(1 日 42 名、2 日 37 名、3 日 72 名)、岩尾別孵化場バスツアーは 2 日間で 37 名が参加した。



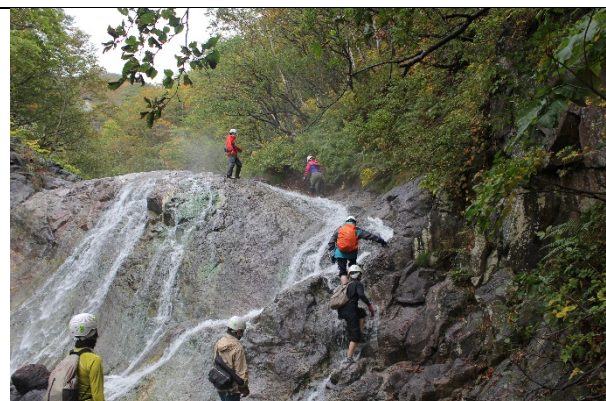
センター前に設置したアクティビティ案内看板。



インフォメーションカウンターの様子。



10/1-3 に実施したカムイワッカ個人利用試行利用のレクチャーの様子。



個人利用の試行事業参加者はヘルメットをかぶって4の滝手前まで遡行した。

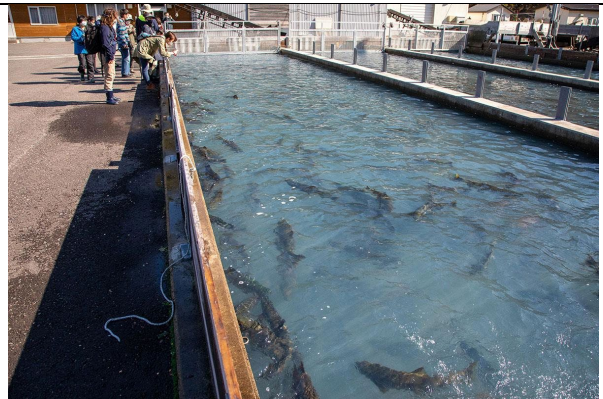
20211224 令和3年度 カムイワッカ部会(第 16 回)



10/9-10 の2日間開催されたツリーイング。



10/9 実施の「ウトロ灯台見学ツアー」の様子



岩尾別ふ化場バスツアーの様子(1)。解説は斜里町役場・水産課の森課長。



岩尾別ふ化場バスツアーの様子(2)。車内からサケを捕えるヒグマを観察でき、参加者から歓声が上がった。

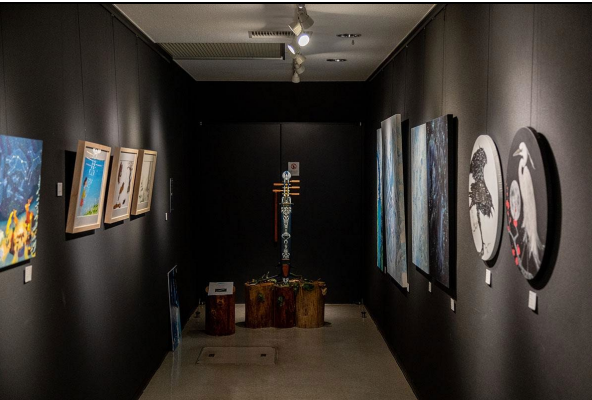


10/10 原生林トレッキングツアーの様子。ガイドは知床アルパの笠井氏。



10/9 原生林トレッキングツアーの様子(2)。ツアー中は開拓小屋と旧開拓家屋の内部を限定公開した。

20211224 令和3年度 カムイワッカ部会(第 16 回)

	
10/1 中標津在住の Muranishenko 氏によるサンドアートパフォーマンス (KINETOKO にて)	ミニギャラリーで開催した石井明日香・ごとうまぎこによる二人展『Rimse (リムセ) 』
	
カムイワッカ eMTB ツアーの様子 (1)	カムイワッカ eMTB ツアーの様子 (2)
	
10/3 開拓小屋にて開催した森のブックカフェ by 流氷文庫シリエトクの様子。	森の集いの様子

5. モニタリング等

- 北海道大学と共同で各種モニタリングを実施。5 月、8 月、10 月のシャトルバス運行期間に加え、9 月の規制期間外においても利用者の意識調査を実施。
- 10/14 現在で、827 のサンプルを取得（下表）。

	対象	サンプル回収数
5月(4日間)	シャトルバス利用者	8 件
8月(5日間)	シャトルバス利用者	113 件
	シャトルバス非利用者	81 件
9月(8日間)	規制期間外の利用者	340 件
10月(3日間)	シャトルバス利用者	285 件
	シャトルバス非利用者	

- 駐車場の駐車時間、湯の滝の試行事業に係るデータ取得も行っており、これらを含めたデータ整理、解析作業を今後進める。